



ながいずみ

桃チャレでバウムクーヘンづくり
桃沢野外活動センターにて



進化する町議会、新たなスタート！

P.2

コロナ禍でも健全経営

令和4年度の決算を認定

P.4

DX、オンライン申請を全町民が体感！

P.10

ズバリ！町政を問う 6人が一般質問

P.12

2023.11.15 発行

No.208

令和5年9月定例会

議会だよりは年4回（2月・5月・8月・11月）発行。議会ホームページからご覧いただけます。



総務民生常任委員会

財政、税、健康、スポーツ、福祉、介護、防災・防犯などに関することを担当します。

委員長 長野晋治



杉森賢二



副委員長 若林徹



堀内浩



宮口嘉隆



安田三津子



大沼正明



建設文教常任委員会

都市計画、道路、河川、産業、公園、ごみ、環境、子育て、教育などに関することを担当します。

委員長 石川美穂



下山和則



副委員長 内田幸英



杉山夏男



井出春彦



米山智



植松英樹



福田明



広報広聴常任委員会

議会ながいずみの発行や議会報告会の開催など、町議会の情報発信と町民からの意見聴取に関することを担当します。

委員長 堀内浩



福田明



副委員長 安田三津子



若林徹



植松英樹



石川美穂



杉森賢二



内田幸英



進化する町議会、 新たなスタート!

町議会議員選挙から2年が経過し折り返し地点となった9月定例会では、新たな議長・副議長が議員選挙により選ばれました。委員会などの体制も刷新し、後半の2年に向け、新たなスタートを切りました。

議長 下山和則

このたび、第36代議長に就任いたしました。歴史ある長泉町議会議長の要職に就くことについて、大変光栄に存じますとともに、責務の重大さを痛感しております。

社会情勢が大きく変化している中、二代表制の一翼を担う議会が果たすべく役割は益々増大しております。引き続き、町民の皆さまの声をお聞きしながら、覚悟と信念をもち議会一丸となって、住民福祉の向上と町政の発展のために、全力で取り組んでまいりますので、より一層のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



副議長 杉森賢二

町民の皆様には、日頃より町議会に深いご理解とご協力をいただき心から感謝申し上げます。このたび、副議長に選任され、その職責の重大さに身の引き締まる思いであります。

議長と共に、円滑な議会運営と、町の更なる発展、活性化に努め、長泉の将来、未来に向けて、町民の命や健康を第一に、迅速かつ、的確な施策を実行し、役割を十分に果たせるよう取り組んでまいります。今後とも町民の皆様、関係各位のなお一層のご支援ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

議会運営委員会

議会をスムーズに運営するためのルールづくりや会議の日程、進行などに関することを担当します。

委員長 大沼正明



副委員長 長野晋治



井出春彦



植松英樹



杉森賢二



9月定例会 コロナ禍でも健全経営 令和4年度の決算を認定

9月定例会は、令和5年9月4日から9月26日まで23日間の会期で開かれ、令和4年度決算の認定や、令和5年度補正予算、条例、契約、人事など22議案を審議しました。

令和4年度決算の概要はこちら
(町広報10月1日号)



総務民生常任委員会の審議

建設文教常任委員会の審議

を表しています。

パークゴルフ場整備事業施設整備費
3億7,645万円



桃沢にオープンしたパークゴルフ場

児童発達支援センター施設整備費補助金
7,310万円



下長窪に開所した児童発達支援センター「ススミダス」

令和4年度はこんなことが行われました



事業に使用されたプレミアム付商品券

緊急経済対策プレミアム付商品券事業費
9,622万円



看護小規模多機能型居宅介護事業所「希望のわだち長久保」

介護サービス提供体制整備促進事業費
補助金 5,625万円

令和4年度決算

マイナンバーカードを活用し、日常生活の移動を支援

マイナンバーカード
活用タクシー
利用助成事業費
1603万円

内容

移動が困難な高齢者などの日常的な外出を支援するため、マイナンバーカードを活用したタクシー運賃の一部を助成するもの。実証実験から始まり、本格運用、新たに妊産婦を対象に加えるためのシステム改修などが行われた。

質疑 専用端末を配備した車両の不足から待ち時間が長いと聞くが、現状とその対応は。

企画財政課長 現在、150台の専用端末を車両に配備している。令和5年度、更に90台を追加配備することから、この問題は解消できると考えている。



紙チケットからマイナンバーカードへ



もっと便利に！
再編されたコミュニティバスの今後に期待

自主運行バス
運行事業費
2879万円

内容

生活交通の確保、公共交通網の充実を図るため、コミュニティバスの運行を行うもの。更なる利便性向上のため、路線やバス停の増設、バスロケーションシステムの導入など再編・拡充が行われ、令和5年1月、新たな運行が始まった。

質疑 再編運行開始後の利用状況をどのように評価しているか。

企画財政課長 利用者は増加傾向にあるものの、令和5年3月の乗車人数は南北線が2001人、循環線Aが337人、循環線Bが294人であった。沿線人口やこれまでの利用率などから目標とする乗車人数は、南北線は1800人、循環線はA・Bそれぞれ1100人と考えている。事業費の採算を基準とした評価は地域公共交通協議会で協議していく。



利用促進が期待されるコミュニティバス

令和4年度決算

新体制

9月定例会
決算認定

9月定例会
補正予算ほか

7月臨時会

町政を問う

川底の洗掘で壊れた護岸を復旧

河川等改修事業
門ノ川護岸復旧工事
2891万円

内容

大雨による影響と思われる護岸の損壊が発覚したため、改修を行った。

質疑 公共土木施設災害復旧事業で実施しなかった理由は。

工事管理課長 令和4年9月2日に住民からの通報により被害の状況を告知した。現場を確認するとともに周辺で聞き取り調査を行ったが、いつの時点でこのような状況になったのか不明であり、災害復旧事業の採択を受けることができなかったため、町単独事業で復旧工事を実施した。



竹原区の損壊した護岸



原油価格や物価高騰の影響を受ける中小企業を支援

物価高騰等対策
中小企業臨時支援金
5329万円

内容

原油価格や物価高騰による中小企業の負担軽減を図り、事業継続を支援するため、燃料油代や電気・ガス代の一部を補助するもの。物価高騰の長期化を踏まえ、第2期申請期間を追加し、支援を行った。



経営を圧迫する燃料油代

質疑 第1期と第2期で補助額を変更した理由は。
産業振興課長 第1期の申請内容から業種によって対象経費に大きな差があったため、経費に応じて補助限度額を変更した。



質疑 第2期を設けたことによる影響は。
課長 申請期間を延長したほか、第1期の未申請者も第2期とあわせて申請可能とし、制度の利用拡大に努めた。第1期では事務の負担感から未申請の事業者もあったが、第2期とあわせることで制度の利用拡大につながった。

契約

下土狩駅前広場改修工事

契約金額 2億345万円



にぎわいが期待される下土狩駅前広場（イメージ）

鮎壺公園交流施設新築工事

契約金額 2億3617万円



みんなが集える交流施設（イメージ）

教えて！議会用語
「契約議決」



「議決」とは、町長や議員などから提出された議案を審議し、議員の表決の結果によって議案に対する町議会の意思（可否）を決定することです。町は議決を経て成立した予算に基づき事業を行いますが、重要な契約については、自治体の財政運営に与える影響が大きいため、議会の議決を経ることとされています。長泉町では6000万円以上の工事・製造の請負契約を結ぶ場合に議会の議決が必要です。

下土狩駅前広場・鮎壺公園 令和7年3月完成予定！

人事

任期満了に伴い新たに選任・任命するもの。

代表監査委員（再任）
村田 正志 氏

議会選出監査委員（新任）
井出 春彦 議員

教育長（再任）
石井 宣明 氏

教育委員（新任）
関口 圭子 氏

討論

令和4年度一般会計決算

賛成討論
福田 明 議員
杉森 賢二 議員

反対討論

議場での審議を見ませんか？

本会議の様子は、生中継・録画中継により配信しています。
委員長報告・討論・採決など、
定例会最終日の映像は[こちらから！](#)➡

QRコード



9月定例会採決結果一覧

議員	審議結果	杉森 賢二	若林 徹	石川 美穂	内田 幸英	安田 三津子	大沼 正明	福田 明	宮口 嘉隆	堀内 浩	長野 晋治	杉山 夏男	植松 英樹	米山 智	井出 春彦	下山 和則
議案																
同意第7号	長泉町監査委員の選任	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
同意第8号	長泉町教育委員会教育長の任命	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
同意第9号	長泉町教育委員会委員の任命	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議第110号	長泉町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議第111号	下土狩駅前広場改修工事請負契約の締結	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議第112号	鮎壺公園交流施設新築工事請負契約の締結	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議第113号	令和4年度長泉町水道事業会計未処分利益剰余金の処分	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議第114号	令和4年度長泉町下水道事業会計未処分利益剰余金の処分	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議第115号	令和5年度長泉町一般会計補正予算（第6回）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議第116号	令和5年度長泉町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1回）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議第117号	令和5年度長泉町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1回）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議第118号	令和5年度長泉町介護保険事業特別会計補正予算（第1回）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
承第17号	専決処分の報告及びその承認 令和5年度長泉町一般会計補正予算（第5回）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
認第15号	令和4年度長泉町一般会計歳入歳出決算の認定	可決	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	-
認第16号	令和4年度長泉町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	可決	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	-
認第17号	令和4年度長泉町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	可決	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	-
認第18号	令和4年度長泉町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	可決	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	-
認第19号	令和4年度長泉町土地取得事業特別会計歳入歳出決算の認定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
認第20号	令和4年度長泉町水道事業会計決算の認定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
認第21号	令和4年度長泉町下水道事業会計決算の認定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
同意第10号	長泉町監査委員の選任	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

○は賛成、×は反対、議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。賛否同数の場合のみ採決に参加します。

土地購入・防災倉庫設置
補正予算を可決

令和5年度 補正予算	
一般会計	2億4,820万円
国民健康保険事業特別会計	2,056万円
後期高齢者医療特別会計	2,195万円
介護保険事業特別会計	7,175万円



長泉小学校東側買収予定地

長泉小学校整備費
2,900万円

内容

学校運営に必要な用地として土地を購入するもの。

新たな通用門を整備するため、用地確保へ

質疑 買収予定の土地の利用目的は。
教育推進課長 消防署前交差点付近から学校までの通学路は、登下校時に大変混雑し、安全上の懸案となっていた。今回購入する土地に、新たに通用門を整備し、登校時の児童の動線を分けることで安全確保を図りたい。また、買収予定地は、これまで学習用の畑として借用していたことから、通用門を整備して残った部分は、これまで同様、学習用の畑として利用したいと考えている。



ファルマバレーセンター北側に設置予定の防災倉庫

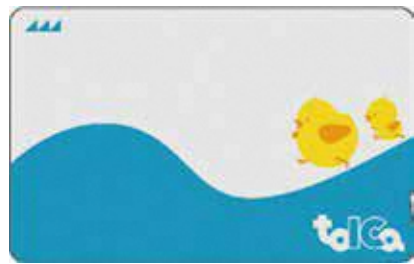
大規模地震対策等
総合支援事業費
670万円

内容

新たに防災倉庫を整備するもの。

災害に備え、防災倉庫を増設

質疑 どのような防災資機材を配備する予定か。
課長 避難所のプライバシー保護を目的とした「パーテーション」や「バルーン投光器」などの配備を予定している。
地域防災課長 防災倉庫本体の費用が約300万円、基礎工事に係る費用が約40万円のほか照明灯や換気扇の設置費などである。



交通系 IC カード TOICA

**キャッシュレス決済
推進事業費
2880万円**

内容
物価高騰などの影響のある中、70歳以上の町民に1人3000円の交通系ICカード「TOICA」の配布を行うもの。敬老祝い金の支給と併せて配布する。

70歳以上の町民には
交通系ICカードを配布

質疑 現金ではなく、TOICAでの配布を選択した理由は。
長寿介護課長 70歳以上の方にキャッシュレス決済の利便性を体験していただく目的に加え、商業施設や公共交通機関で利用できるTOICAを選択することで、外出支援によるフレイル予防にもつながると考えた。
質疑 利用したことのない方への対策は。
課長 TOICAを配布する際に使い方をわかりやすく記載した説明書を配布する。また、希望者には直接説明を行う。



**コミュニティ施設
整備事業等補助金
50万円**

内容
各区が行う公民館の施設整備などに対し、その経費の一部を補助するもの。6月の大雨などにより、一部の公民館が雨漏りなどの被害を受けたことを受け、緊急的な修繕に対応するため、増額補正が行われた。

大雨の被害を受けた区公民館の修繕、
スピーディに対応

質疑 今回申請のあった区への補助額は。
行政課長 区公民館施設改修に対する補助率は事業費の2分の1以内で、3年間で300万円が限度となっている。今回申請のあった中土狩区には、事業費76万8900円に対し補助金38万4千円を、新屋町上区には事業費44万円に対し、補助金22万円を交付する予定である。

町議会の会議には、定例会と臨時会があります。

定例会は、年4回、原則3月・6月・9月・11月に開かれます。定期的に開かれる定例会に対し、臨時会が必要に応じて開かれます。会議を開くための議会の招集は町長の権限ですが、議会が会議を開くこともできます。今回開かれた臨時会は、長引く物価高騰への対応、大雨で被害を受けた公民館施設改修への対応をスピーディに行うため、臨時に町長が議会を招集し、会議が開かれました。

教えて！議会用語
「臨時会」

7月臨時会採決結果一覧

議案	議員	審議結果	長野 晋治	若林 徹	石川 美穂	内田 幸英	安田 津子	大沼 正明	福田 明	宮口 嘉隆	堀内 浩	杉森 賢二	杉山 夏男	植松 英樹	米山 智	下山 和則	井出 春彦
議第109号 令和5年度長泉町一般会計補正予算（第4回）		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

○は賛成、×は反対、議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。賛否同数の場合のみ採決に参加します。

補正予算

補正予算

7月臨時会 DX、オンライン申請を全町民が体感！

令和5年第1回臨時会が、7月24日に開かれました。物価高騰の一助となるデジタル商品券等配布事業や6月の大雨で被害を受けた公民館施設整備のための補正予算が審議されました。

臨時会の様子は
こちら



令和5年度 補正予算	
一般会計	1億4,100万円

**キャッシュレス決済
推進事業費
1億1170万円**

内容
物価高騰などの影響のある中、69歳以下の町民に1人3000円分のデジタル商品券「QUOカードPay」の配布を行うもの。申請から配布までを原則オンラインとすることで、デジタル化・キャッシュレス化推進を図る。スマートフォンなどを所持していない世帯にはカード式商品券を配布する。

オンライン申請の推進！69歳以下の町民にデジタル商品券を配布

質疑 70歳でQUOカードPayとTOICAに分かれる理由は。
企画財政課長 令和4年度の住民意識調査によると70歳以上からスマートフォン所持率が大幅に下がるため、70歳以上の方はスマートフォンを利用しないでキャッシュレス決済を行える方式を選択した。一方、69歳以下の方にはスマートフォンを活用し、DXで実現する「効率化」「省力化」を体験してもらいたいと考えた。いずれも、デジタルを活用したサービスに触れるための社会実験的な効果を目指している。



質疑 原則申請はLINEで行われるとのことだが、セキュリティ面の心配は。
課長 申請データはLINEのサーバーではなく別システムのクラウドサーバーに格納される。このサーバーは国のセキュリティ評価基準を満たしており、問題ないと考えている。

申請は町の公式LINEから

申請方法など詳細はこちら



DX(デジタル・トランスフォーメーション)…ICTの浸透が人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させること。

ズバリ!

町政を問う



不登校児童・生徒を一人も取り残さないための早期発見と初期対応を
一般質問映像

石川 美穂 議員



令和6年4月教育支援センターを「いずみの郷」内に開所予定

9月定例会 6人が一般質問

- 1 石川 美穂 議員**
 - 不登校児童・生徒へ学びの場となる居場所づくりを
 - 全国学力・学習状況調査
- 2 内田 幸英 議員**
 - 三島市・裾野市・長泉町・清水町、2市2町による広域連携
 - わくわく祭りの今後と下土狩駅周辺地区の今後
 - 認知症になっても安心して暮らせる、いきいきとした暮らしを支える優しいながいずみ
- 3 大沼 正明 議員**
 - 安心して暮らし続けられるまちへの取り組みを
- 4 堀内 浩 議員**
 - 誰ひとり取り残さない取り組みを
 - 学校給食センターの安全対策は
- 5 福田 明 議員**
 - 町民のいのちと暮らし平和を守るために
- 6 杉森 賢二 議員**
 - SDGsで自治体ブランド構築を

一般質問とは…議員が町政全般の執行状況や方針、課題などを、執行機関に直接質問すること。

Q

教室に入れない児童生徒への対応と支援策は

A 教育支援センターの開所を予定している

不登校の未然防止対策は

問 不登校児童生徒数の傾向や不登校未然防止にタブレット端末の活用を。

教育部長 全国的に増加している中、当町も増加傾向にある。欠席が3日続く児童生徒には家庭訪問を行い、不登校となら

ないよう丁寧に対応している。また、授業の様子の配信や、A・ド・リル教材を活用し、不登校児童生徒の学びを止めない手立てを取っている。今後は文科省より健康相談や教育相談を行うシステムの活用が示されたことから、先進事例を確認し、検討を進める。

問 学校以外の多様な学びの場、居場所づくりを。

部長 すべての子どもが学ぶ権利を保障するため、学校に行けなくなった子ども達が安心して学べる居場所を提供することは大変重要なことと考えており「いずみの郷」1階を利用し令和6年4月開所に向け、教育支援セン

問 フリースクール運営団体や利用する家庭へ支援はできないか。

部長 現在支援する考えはないが、県ではフリースクールに関連した支援策を検討することから今後動向を注視していきたい。

Q

オンライン英会話や幼稚園などでのA・L・Tの活用を

A 現在の体制を維持するなかで英語教育を進めていく

英会話力向上に向けた取り組みを

問 令和5年度全国学力・学習状況調査の結果に教育委員会の見解は。

教育部長 小学校は国数、中学校は英数国が行われ、当町の児童生徒は全国や県の平均正答率を上回る結果だったが、正答率の

低い問題や無答率の高い問題もあるなど、課題が見られることから、日々の授業改善を進めるとともに家庭と協力して学力の向上に努めていく。

問 異文化に触れられるよう幼稚園などでのA・L・Tの活用を。

部長 令和3年度から始

問 オンライン英会話の導入など、タブレット端末の活用を考えは。

部長 英語授業でスピーチ動画の記録やプレゼン

テーションを作成、提示するなどしてタブレット端末を活用している。オンライン英会話は、令和3年度よりA・L・Tを一人増員し、全国学力・学習状況調査では成果もでていくことから、現在の体制を維持し、英語教育を進めていく。



自治会に加入しましょう

一般質問映像

大沼 正明
議員



総合防災訓練中の町災害対策本部



2市2町による首長会議の様子

下士狩駅から三島駅北口
までのアクセス性向上を

一般質問映像

内田 幸英
議員



問 自治会未加入世帯は自主防災会未加入世帯になる。安否確認方法は、**部長** 自治会未加入世帯は、総合防災訓練などに参加できていないため、安否確認できない状況である。有事の際に共助に加われないデメリットを

問 同報無線の通報実績は、**地域防災課長** 令和4年度の通報実績は、緊急通

問 NET119の登録状況と周知は、**課長** 現在12人が登録している。事前登録を促すための啓発用ポスターの掲示やホームページなどで周知を図っている。また、障害者手帳の交付の

地域防災課長 自主防災会連合会において、定期的に普通救命講習の実施に併せてAEDの取り扱い訓練を実施してきた。今後も、富士山南東消防本部と連携を図り、救急処置の一助につながる取り組みを推進していく。

問 自治会加入率は、**総務部長** 自治会から報告された世帯数は、1万6130世帯、町の総世帯数は1万8714世帯加入率は約86%になる。

問 シェイクアウト訓練の実施状況は、**教育部長** 小学校では2か月に1回、中学校では年間3回の避難訓練を行っている。また授業時間以外にも休み時間や掃除の時間など、予告なしでシェイクアウト訓練を行い、自分で判断し行動する力を高められる訓練を行っている。

問 同報無線の聞き逃しはデータ放送に、**課長** 既に導入している自治体があるが、当町は、年間の通報件数が少ないため、費用対効果などを含め導入の是非を調査研究する。データ放送に関しては、文字データとしてリアルタイムで掲載できるか否か検証を進める。

問 バイスタンダーの育成を、**教育部長** 小学校では、AEDや心肺蘇生法の学習はしていないが、困ったことがあったら大人を呼ぶよう指導している。中学校では、保健体育の授業で応急手当の学習をしている。児童生徒の発達段階に応じたバイスタンダー教育を行う。

問 安否確認訓練に参加した世帯数は、**地域防災課長** 全41区、延べ8399世帯約60%の安否確認情報が報告された。

問 自治会加入促進を、**部長** 共助の重要性の理解を促すなど防災の観点から自治会への加入促進を継続する。

問 同報無線の聞き逃しに、電話での自動応答システムの導入や、静岡朝日テレビのデータ放送に導入を、**課長** 既に導入している自治体があるが、当町は、年間の通報件数が少ないため、費用対効果などを含め導入の是非を調査研究する。データ放送に関しては、文字データとしてリアルタイムで掲載できるか否か検証を進める。

問 バイスタンダーの育成を、**教育部長** 小学校では、AEDや心肺蘇生法の学習はしていないが、困ったことがあったら大人を呼ぶよう指導している。中学校では、保健体育の授業で応急手当の学習をしている。児童生徒の発達段階に応じたバイスタンダー教育を行う。

総合防災訓練

Q

同報無線の聞き逃しはデータ放送に

A

リアルタイムで掲載できるか検証する

自治会未加入世帯の方に十分理解していただく。

報16件、一般通報1件合計17件。

際にも、本制度に関するガイドブックを用いて説明を行うなど、登録の促進を図っている。

シェイクアウト訓練…訓練会場に参集して行われる訓練と異なり、指定された時間にそれぞれの居場所で地震の際の安全確保行動「まず低く、頭を守り、動かない」を行う訓練。
バイスタンダー…救急現場に居合わせ、応急手当を実施する人。

いきいきとした暮らしを支える優しいながいずみ

ンジとして心理面や生活面で早期からの支援を行っている。また、専門機関への早期受診により適切な医療や介護を受けられるように支援する認知症初期集中支援チームの配置や、地域支援体制を構築する認知症地域支援推進員の配置、認知症予防を推進するため、健や

か脳教室や認知症予防講演会などの開催に取り組んでいる。町広報紙令和元年12月1日号に14ページの認知症特集記事を掲載した。

認知症に関するポスター掲示、住民福祉部門の職員が認知症啓発シンボルカラーのオレンジ色のものを身に付けて啓発に努めている。他自治体ではライトアップや講習会開催などを実施しているため、認知症支援推進員や関係者の意見を伺い取り組み強化に努める。

Q

認知症患者や家族に対し独自で新たな支援を

A

町の現状に合う適切な取り組みを継続する

富士山南東スマートフロントエリア推進協議会
問 2市2町での連携進捗状況は、**総務部長** 令和3年8月、三島市・裾野市・長泉町を構成団体として発足。昨年10月に民間企業4社の協業でマルチモーダル・移動基盤を構築し交

問 コワーキングスペースと連携し、更なる移住促進対策を、**企画財政課長** 移住対策

の取り組み状況として、8月に東京の有楽町で開催された静岡まるごと移住・就職フェアに出展し多くの移住相談を受けるとともに、オンラインでの移住相談対応や町内見学などにも対応している。

組み状況と今後の見解は、**課長** 下士狩駅から三島駅間のアクセスは、御殿場線沼津駅を経由して東海道線への乗り換えが必要となり、新たなモビリティによる解決策が期待されるが、新たな公共交通の定着には数年を要し、採算性などを含め実現するには多くの課題がある。

Q

転職なき移住推進エリア拡大の効果は

A

2市2町でのプロモーションは非常に有効



**公共施設が「涼み処」である
ことを分かるようにしてほしい**
一般質問映像

福田 明
議員



ケアマネジャーが配布しているパンフレット

問 熱中症で搬送されるのは、半数が高齢者である。町の状況と熱中症対策は。

長寿介護課長 5月から8月の救急搬送人員とその内の高齢者人員は、令和4年が14人と5人、令和5年が26人と15人となる。高齢者は体内の水分が少なく、暑さやのどの渇きに対する感覚が鈍くなるなどの特徴があるので、エアコンを上手に使い、こまめに水分補給をするなどの注意喚起が重要になる。町では、パンフレット「高齢者のための熱中症対策」をケアマネジャーを通じて配布したり、各地区でのサロンでも熱中症予防の講話や注意喚起をしている。

問 クーリングシェルターを公共施設などに配置する必要があるのではないか。

企画財政課長 環境省は自治体が公共施設や民間施設を「クーリングシェルター」として指定し、熱中症特別警戒アラートが発表された場合には、一般開放することを求めているが、具体的な要件や定義は定まっていない。一方静岡県では、「ふじのくにCOOLチャレンジ」を実施しており、家庭でのCO₂削減に向け、これに賛同する公共施設や民間施設を公表している。当町もエントリーしており、文化センターやコミュニティながいずみ、ウェルディ長泉など官民7施設で休憩することが可能である。

問 東京都日野市では、市民が中心となり財政白書を作成している。町の財政状況を理解してもらうために財政白書を作成してはどうか。

課長 地方自治体の財政状況は、法令に基づき住民に公表することになっている。財政状況が健全性の低い自治体は、課題解決という側面もあるが、当町は全国トップレベルの健全財政を運営しており、毎年6月と12月に「財政白書」として公示し、町ホームページなどで公表している。

問 自衛官募集のために、自衛官募集の提供を希望されない方には除外申請があることを町民に告知すべきではないか。

住民窓口課長 当町では、次年度に向け「自衛官募集事務に係る対象者情報の提供について」と「除外申請」の受付についてホームページに掲載して周知する方向で進めている。

クーリングシェルター…暑さや日差しから身を守るため、一部の公共施設や協力店舗を利用した一時的な休憩施設。



期待される認知症サポーター

**誰ひとり取り残さない
取り組みを**
一般質問映像



堀内 浩
議員



Q 認知症の早期発見・早期治療が望まれる！

A 認知症初期集中支援チームを配置し対処

認知症ガイドブックの普及促進を

問 認知症チェックによる早期発見から早期治療につなげるシステムの構築が望まれているが。

住民福祉部長 認知症の発症予防、症状などに合わせて受けられるサービスや相談窓口、認知症サ

エックリストなどを記載した「認知症ガイドブック」を作成し、窓口などで配布している。また、医療や介護の専門職で構成された認知症初期集中支援チームを配置し、相談に応じたり、専門医への早期受診などの支援を行っている。

**期待される
認知症サポーター**

問 地域で認知症の方やその家族に対して手助けできる「認知症サポーター」の養成は急務となるが。

長寿介護課長 平成19年度に認知症サポーター養成講座をスタート、これまでに119回講座を開

催し、5156人の方が受講している。また、平成28年度から、認知症サポーターステップアップ研修を開催し、養成と併せて知識をさらに深めている。引き続き養成講座の開催を呼びかけ、サポーターの増加に努め、ステップアップ研修も継続し、支援の輪を広げたい。

Q 重層的支援体制整備事業の準備状況は

A 垣根を超えた、オール長泉で取り組んで行く

「断らない窓口」の仕組みづくりを

問 福祉分野での相談体制は縦割りであり相談内容によっては横断的な相談ケースもある。支援機関などをチームとしてまとめ連携させ、町全体の意識改革を含めた支援体制の構築をすべきだが。

総務部長 令和6年4月から「重層的支援体制整備事業」をスタートさせるため「重層的支援準備室」を設置し、調整を図る専属の職員を配置し、実情を踏まえた体制作りに向け、外部機関の専門職や町内関係部署担当職員をスタッフとして兼務させ横断的に取り組んで

きた。特に要となる「相談支援」を担う職員に対しては、この取り組みの必要性を理解し、意識をもつて各担当部署の垣根を超えたオール長泉で取り組んで行くため、準備調整を進めている。解決が難しいケースにおいては、支援関係機関のネットワークを活用し、さま

ざまな機関が連携する仕組みを機能させることで相談者の支援につなげる体制を構築していく。

その他の質問

◆視覚障がいを持つ方のために「音声コード」の利用促進を求める。

◆学校給食センターの安全対策を問う。



SDGsによる
自治体ブランドの構築を

一般質問映像



すきもり
杉森 賢二
議員



「持続可能なまちづくり」自治体SDGsの推進を

Q 自治体モデル事業でSDGs未来都市へ

A SDGs推進の方向でブランド戦略に取り組む

SDGsを町内外へ
発信し浸透を

問 環境に配慮した施設をエコリズムズとして、ホームページや、現地看板で統一性を図り紹介し、ブランディングの考え方でSDGsの事業展開を。
都市環境部長 町では「ウェルピアながいずみ」や「長泉小学校のプレハブ校舎」など再生可能エネルギーを活用した公共施設づくりに努め、これから建設する「鮎壺公園」の交流施設も国が環境に配慮した建築物として推奨するゼロエネルギービルディング（ZEB）の仕様とし認証を受けている。また、公共施設に留まらず、先進的取り組みで県内外から多くの視察を受けた「環境配慮型マンション」における

る「フレジットの活用など民間事業者との連携を図りホームページに掲載している。この他、「鮎壺の滝」「鑑が淵」「割狐塚神社」などの説明看板も、統一性のあるデザインで一体的な印象としていく。今後もこのような取り組みを持続し、より多くの方々に町の魅力が伝えられるよう内外に発信し、ブランディングを推進したい。

問 自治体SDGs推進評価・調査検討会が行っている、SDGsに関する全国アンケート「地方創生SDGs達成に向けた取り組み状況」の評価数値を踏まえ町の見解は。
企画財政課長 自治体別「地方創生SDGs達成に向けた取り組み状況」において、調査項目のうち、

「推進組織の設置等による体制づくり」と「その他SDGs推進に向けた取組」の2項目が低い評価となっているが、この調査の時期が令和4年10月であり、町がSDGs宣言制度を実施する前の調査内容となっているため問題ないと考えている。
問 自治体SDGsモデル事業の展開を。
総務部長 SDGs未来都市の申請を視野に入れながら、まずは総合計画の推進を最優先に取り組むとともに、町のブランドシンボルが、SDGs推進の方向性と一致するため、引き続きブランド戦略にも取り組んでいく。

新しい遊具に期待

子どもがよく遊んでいる長泉小学校の遊具のことが書かれており、子どもと新しい遊具を楽しむにしています。

(30代)

ふるさと納税を考える

ふるさと納税赤字日本一というのには驚きました。ふるさと納税ワースト一になっていることをテレビで知りました。現地応援型のふるさと納税で町が活性化されるといいなと思います。

(30代)

新たな施設で活気を

パークゴルフ場は緑に囲まれ、すばらしいところだと思います。

(50代)

毎日車で通るのですが、鮎壺公園ができるのを日々楽しみに眺めています。

(80代)

老朽化した遊具を新しくしていくのは、とてもありがたいです。遊具がなくなるのは寂しいですが、新たに設置していただけたら安全、安心して遊ぶことができます。子どもがいると、このような記事に目がいきますが、時代に合った社会であり続けて欲しいです。

(30代)

ふるさと納税制度は本来の目的から逸脱しているように感じますが、自分も返礼品目当てで寄付してしまっています。自分の古里や住んでいるところにメリットが生じるといいのですが、長泉町独自の取り組みが全国に広まることを願います。

(40代)

鮎壺公園も徐々に完成に近づいており、楽しみにしながら通勤しています！

(30代)

期待しています

私の要望・意見

8月1日号の「わが町たんけんクイズ」に応募していただいた中から、ご意見を抜粋して紹介します。



生中継にライブ字幕配信機能がつけました！！

聴覚に障がいを持つ方にも議会の様子をご覧いただけるよう、音声認識表示システムを導入しました。生中継で「字幕表示あり」を選択すると、発言内容の字幕がリアルタイムに表示されます。また、議場の傍聴席にもモニターを2台設置し、ライブ字幕を表示しています。 ※ 録画中継には字幕は表示されません。

障がいの有無や年齢、性別などに関わらず、誰でも議会を傍聴できる環境を整えていきます。ぜひ議場での審議の様子をご覧ください。

11月定例会は
11月27日(月)開会予定です。

審議日程や議案の一覧などは開会日のおよそ6日前にホームページに掲載します。



インターネット
中継はこちらから



まちがどインタビュー

～桃チャレで聴きました～

- ①長泉町にはいつからお住まいですか
- ②今住んでいて感じることはありますか
- ③町の良い点、不自由な点はあるですか
- ④これからの長泉町に期待することはありますか

①令和4年6月から住んでいます。

②子育てしやすいと聞いて引っ越してきました。子ども向けのイベントも多く、実際に子育てしやすいです。

③良い点は、がん検診など町民の健康維持に力を入れているところ。悪い点は、道が狭く、バスの本数が少ないと感じます。

④子どもたちが安心して遊べる遊具や施設の充実に期待します。



本宿・東さん

①生まれてからずっと住んでいます。

②とても豊かになったと感じます。

③敬老祝い金をもらえてうれしいです。他市町はもらえないようなので。

④子どもたちの未来のために、教育に力を入れてもらいたいと思います。



竹原・高橋さん

「〇いちょう通り」ヒント：わくわく祭りのメインイベント、踊りパレードが行われる町のメインストリートのひとつです。



わが町たんけんクイズ

Vol.146

ここはどこ？
でしょう！

町内にある施設などを出題します。○の中に入る言葉をお答えください。正解者の中から抽選で10の方に千円分の図書カードを贈呈します。

応募方法

●はがき、FAX、応募フォームのいずれから、クイズの答え、住所、氏名、年齢、電話番号、議会ながいずみの感想を書いてお送りください（お寄せいただいたご意見は紙面で紹介させていただく場合があります）。

※メ切は12月15日（金）消印有効です。当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。

宛先

〒411-8668

長泉町中土狩828番地

長泉町議会

広報広聴常任委員会

応募フォームはこちら

前回の正解は

「城」山神社公園でした。

（応募総数77通 正解数77通）



編集後記

任期4年の半分が過ぎ、議会の体制が新しくなりました。沼津三島線・パークゴルフ場・鮎壺公園など町の様子も大きく変化しています。その変化を議会目線でお伝えできるのが、広報広聴常任委員会です。

「議会だより」も新しい委員のもと、委員の個性を生かしつつ町民の皆さまに関心を持って読んでいただけるよう努力して参ります。

堀内 浩

発行責任者

議長 下山 和則

広報広聴常任委員会

委員長 堀内 浩

副委員長 安田三津子

委員 植松 英樹

委員 杉森 賢二

委員 福田 明

委員 若林 徹

委員 石川 幸英

委員 内田 幸英